

個人投資家向け 会社説明会

長瀬産業株式会社

証券コード:8012

これからも、
じぶんらしく。
じぶんらしくなく。



INDEX

1. 長瀬産業について
2. 成長戦略「中期経営計画 ACE 2.0」(2021-25年度)
3. 株主還元
4. まとめ

INDEX

1. 長瀬産業について
2. 成長戦略「中期経営計画 ACE 2.0」(2021-25年度)
3. 株主還元
4. まとめ

▶ 長瀬産業 経営理念

誠実正道

【経営理念】

社会の構成員たることを自覚し、誠実に正道を歩む活動により、
社会が求める製品とサービスを提供し、会社の発展を通じて、
社員の福祉の向上と社会への貢献に努める

▶ NAGASEグループのユニークな機能

ものづくりの課題を素材(マテリアル)で解決する会社



商社機能

パートナーとの課題解決

- ・情報の目利き力
- ・課題の探索とマッチング
- ・グローバルネットワーク

製造機能

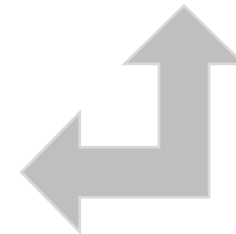
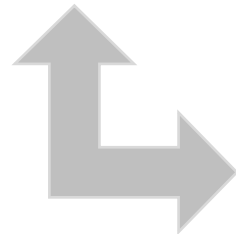
自社製品による課題解決

- ・独自の素材や技術
- ・製造、品質管理
- ・素材のカスタマイズ



研究開発機能

新素材の開発による 課題解決



顧客・社会の
課題やニーズ

サステナブル
な社会の実現

▶ NAGASEの概要

創業

1832
年

連結売上高

9,001
億円

連結従業員数

7,528
名

格付(R&I)

A(ポジティブ)

業態

商社

売上総利益 海外比率

54
%

拠点数

25 106
カ国・地域 社

特許出願数

約1,500
件

市場区分

プライム

自己資本比率

50
%

取引企業数

約18,000
社

時価総額

3,356
億円

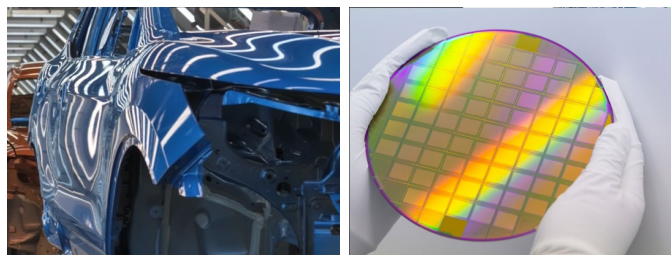
※2023年度実績

※2025年1月末時点

▶ 5つの事業セグメント

化学品・食品素材をはじめ、様々な業界のサプライチェーンに
川上から川下まで幅広く事業を展開

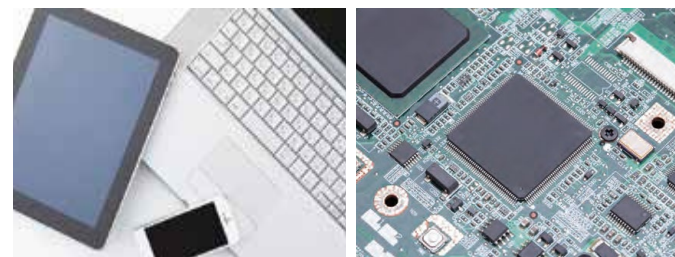
機能素材



加工材料



電子・エネルギー



モビリティ



生活関連



生活関連
25%

機能素材
19%

加工材料
17%

2023年度
営業利益
306億円

電子・エネルギー
28%

モビリティ
11%

※ セグメント別構成比の計算には、
その他・全社、連結調整を含まず

▶ 商社の枠を超えてきた約190年の歴史

1832~

1900~

1970~

2010~

化学品の専門商社としての地位確立

Story 1 染料の取り扱いから化学領域へ

NAGASEグループのグローバル展開

Story 2 海外有力メーカーとの取引を開始

製造・加工、研究開発機能の強化

Story 3 エポキシ樹脂の製造を開始 Story 4 研究開発拠点の設立

食品素材ビジネスの本格化

Story 5 林原(現 ナガセヴィータ)・Prinovaのグループ化

▶ 商社の枠を超えてきた約190年の歴史

1832~

1900~

1970~

2010~

化学品の専門商社としての地位確立

Story 1 染料の取り扱いから化学領域へ

1832年、長瀬伝兵衛が紅花や布海苔、澱粉を扱う京都・西陣で「鱗型屋」を創業。のちに、天然染料だけでなく、合成染料の取り扱いを開始したことで、化学業界での基盤を確立した。



初代 長瀬伝兵衛



紅花

NAGASEグループのイメージソング「Safflowers」
<https://www.youtube.com/watch?v=X4wDZ92IIAM>

▶ 商社の枠を超えてきた約190年の歴史

1832~

1900~

1970~

2010~

NAGASEグループのグローバル展開

Story 2 海外有力メーカーとの取引を開始

輸入を通じて海外の製造技術を国内に持ち込む

チバ社 : 化学 機能素材

デュポン社 : 塗料 機能素材

チバ社 : エポキシ樹脂 電子・エネルギー

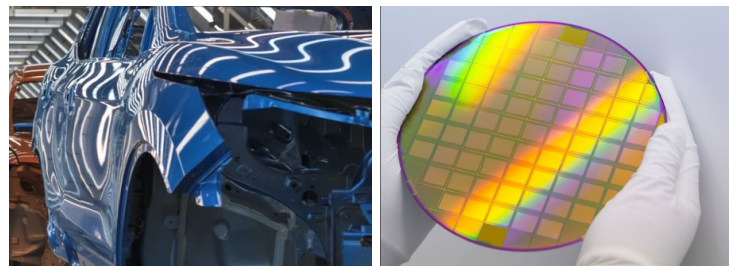
イーストマン・コダック社 : 映画用フィルム ※ 電子・エネルギー

※後にフィルム現像技術を半導体に応用

ゼネラルエレクトリック社(GE社): 樹脂 加工材料

モビリティ

機能素材セグメント



- 化成品事業を基盤として高機能素材を提供
- 塗料・インキ、ウレタン、半導体業界などの業界向けに事業を展開

収益貢献の大きい商品および製品

- 塗料・インキ用添加剤
- 半導体材料
- ウレタン原料
- SAP(高吸水性ポリマー)原料

身の回りの製品例

- 自動車や建築用の塗料原料
- 半導体の材料
- 建築用の断熱材原料
- 自動車のシートのウレタン原料
- おむつの原料

強み

- 長年維持してきた圧倒的シェアに裏付けられるサプライチェーンマネジメント機能
- 長年培った取引先との強固な信頼関係と業界・化学品への深い知見
- グローバルネットワークや課題解決力、専門性
- グループ力を活かした情報力

加工材料セグメント



- OA機器や電機・電子業界を中心に幅広い業界に合成樹脂を販売
- ナガセアプリケーションワークショップとの連携で付加価値を拡大

収益貢献の大きい商品および製品

- エンジニアリングプラスチック
- 工業用ホース、土木用パイプなど

強み

- 技術的知見・情報やノウハウ
- サプライチェーンネットワーク
- アジアパシフィックでの充実したサプライヤーおよび顧客基盤
- ナガセアプリケーションワークショップとの連携

ナガセアプリケーションワークショップとは？

商社機能

×

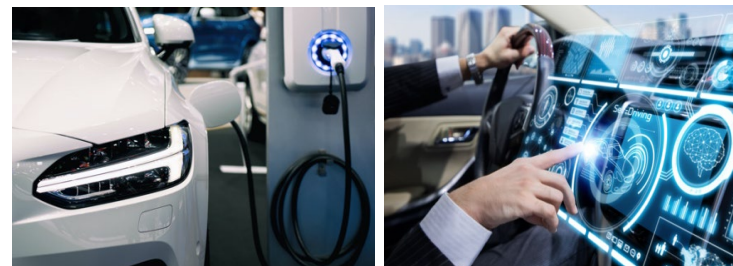
研究開発機能

- 商社が運営するオープンイノベーションラボ
- ユニークな新技術や新素材の評価・分析、新規用途等を開発
- プラスチックとコーティングの分野で機能性・意匠性を追求

身の回りの製品例

- OA、PCなどに使用される樹脂
- 樹脂製のカップ
- 化粧品容器
- 工業用ホース、土木用パイプなど

モビリティセグメント



- 自動車の内外装の樹脂や、EV、ハイブリッド車用などのカーエレクトロニクスに関わる商品を扱う
- 自動運転社会の到来を見据えセンサー・電子デバイスへの事業展開を図る

収益貢献の大きい商品および製品

- 自動車向けエンジニアリングプラスチック
- カーエレクトロニクス関連部材など

強み

- 幅広い商品群
- 製品・技術の発掘力とグローバルサプライチェーン構築力
- 取引先との強固な信頼関係

身の回りの製品例

- 自動車の内外装などに使われる樹脂
- 車内エレクトロニクス用の製品
- 自動運転用のセンサー部品
- 電動化用の製品
- 車載ディスプレイ関連部材
- リチウムイオン電池材料 など

▶ 商社の枠を超えてきた約190年の歴史

1832~

1900~

1970~

2010~

製造・加工、研究開発機能の強化

Story 3 エポキシ樹脂を製造開始

Story 4 研究開発拠点の設立

Story 3

1970年
チバ社と合併会社
長瀬チバ(現 ナガセケム
テックス)を設立。
のちに完全子会社化

電子・エネルギー

機能素材

製造機能



長瀬チバ(現 ナガセケムテックス)

Story 4

顧客の声を研究開発段階から
取り入れるべく、
1990年に
ナガセR&Dセンター
(現 ナガセバイオイノベーション
センター)
2007年に
ナガセアプリケーションワー
クショップを設立

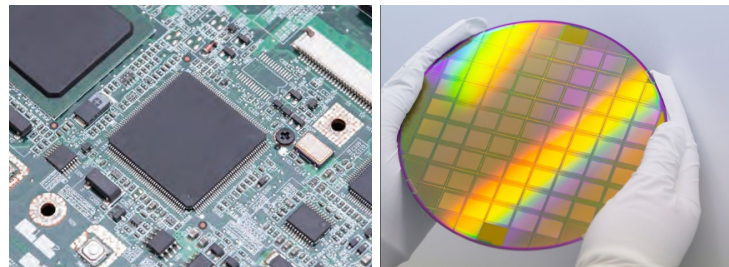
研究開発機能



ナガセR&Dセンター
(現 ナガセバイオ
イノベーションセンター)

Nagase ChemteX

ナガセケムテックス株式会社



- エレクトロニクスやケミカルなどの領域で独創的な技術を持つ製造会社
- 長年にわたり独自の合成技術・配合技術・評価技術を蓄積

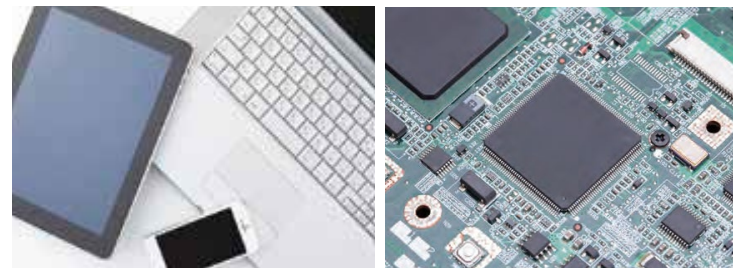
特に強みをもつ製品

- 半導体の封止材等に用いられる変性エポキシ樹脂等の高機能樹脂
- 半導体や液晶製造の微細加工などで使用されるプロセスケミカルの薬液

外部からの評価

- 液状封止材は最先端半導体向けに広く使用されており、**業界標準の地位を確立**
- 微細加工に使用されるプロセスケミカルの薬液も**高いシェアを有する**

電子・エネルギーセグメント



- 半導体や電子デバイスなどの業界の潜在的なニーズを先取りし、グループの製造機能を活用し、オリジナリティの高い製品を提供

収益貢献の大きい商品および製品

- 変性エポキシ樹脂
- フォトリソグラフィ材料
- 半導体・電子デバイス関連装置
- 精密研磨材料
- ディスプレイ用材料
- タッチパネル部材など

身の回りの製品例

- PC、スマホ、タブレットなどの液晶材料
- PC、スマホ、タブレットなどの電子部品材料
- 電化製品に使われる半導体の材料など

強み

- 商社機能とメーカー機能が融合した製販一体体制
- メーカーとしての技術力・開発力を背景としたソリューション提供
- 顧客密着型の営業体制
- 顧客ニーズを的確に反映した商材探索・提案
- サプライヤーの市場開発サポートおよび技術的信頼

▶ 商社の枠を超えてきた約190年の歴史

1832~

1900~

1970~

2010~

食品素材ビジネスの本格化

Story 5 林原(現 ナガセヴィータ)・Prinovaのグループ化

2012年に林原(現 ナガセヴィータ)、
2019年には米国のPrinovaグループを買収し、食品
素材ビジネスを本格化

生活関連



林原(現 ナガセヴィータ)



Prinovaグループ

Nagase Viita

ナガセヴィータ株式会社



- バイオテクノロジーや機能性色素の技術をベースに幅広い事業を展開
- 食品素材、パーソナルケア素材、医薬品素材など幅広い分野の製造・販売を担う

特に強みをもつ製品

- **トレハロース**:キノコ類や酵母に含まれる天然の糖
でん粉老化、冷凍による劣化の抑制や、食感改良など様々な効果を持ち、
和洋菓子や冷凍食品などに使用される
世界初のトレハロース(トレハ[®])の大量生産技術を開発
- **AA2G[®]** :主に化粧品素材として使用されるビタミンC
安定的な構造をもち、化粧品に配合しても安定で、着色しにくい
国内外のスキンケア商品に配合される

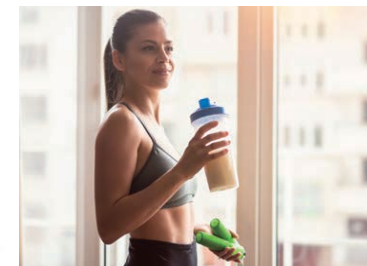


- 食品素材の販売と配合品の製造やプロテインなどの最終製品の受託製造を行う
- M&Aを含む積極的な投資により事業を拡大

Prinovaグループの強み

- 食品用ビタミン、アミノ酸、甘味料、カフェインなどの取り扱いで**世界最大級**
- 北米、欧州を中心とした**3,000社以上の顧客を有するネットワーク**
- 原材料の調達、配合とフレーバーに関する研究開発力
- プロテインなどのスポーツニュートリション分野**での経験とネットワーク
- 2,000品目以上の食品素材販売から最終製品の受託製造まで手掛ける
バリューチェーンの垂直統合型事業

生活関連セグメント



- 食品素材、化粧品素材、医薬品原料など景気変動を比較的受けにくい事業を行う
- ナガセヴィータとPrinovaグループを軸にフード事業の拡大を図る

収益貢献の大きい商品および製品

- ナガセヴィータ製品(AA2G[®]、トレハロース)
- Prinovaグループ製品
- 医薬品原料など

身の回りの製品例

- 食品に含まれる糖質
- 化粧品の原料
- ビタミン、アミノ酸、甘味料などの食品添加物
- プロテインなどのスポーツニュートリション
- 医薬品原料など

強み

- 業界トップクラスの顧客基盤とグローバルな事業基盤
- グループ内の商社機能、製造機能、研究開発機能を活かす総合力
- 高度な専門知識を有する人財
- 自社・他社素材の多彩な組み合わせによる提案力

▶ 世界に広がるNAGASEグループ

拠点数

25 106
カ国・地域 社

欧州
9 社

グレーター
チャイナ
23 社

日本
30 社

米州
24 社

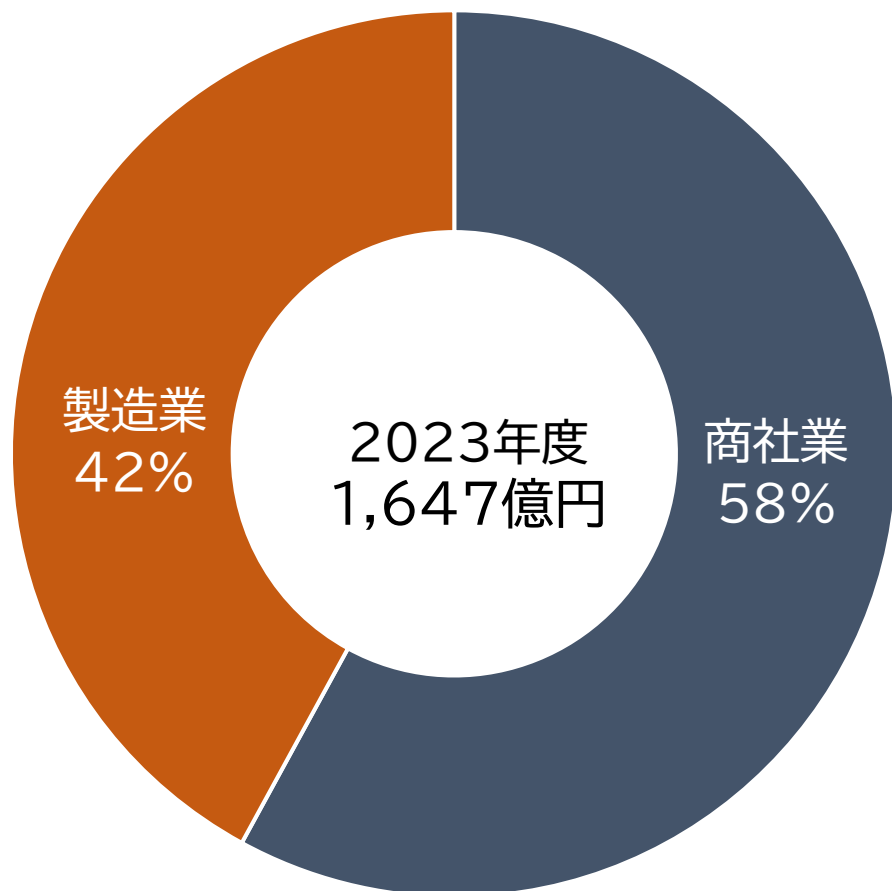
ASEAN&
中東
17 社

その他
3 社

※2024年3月末時点

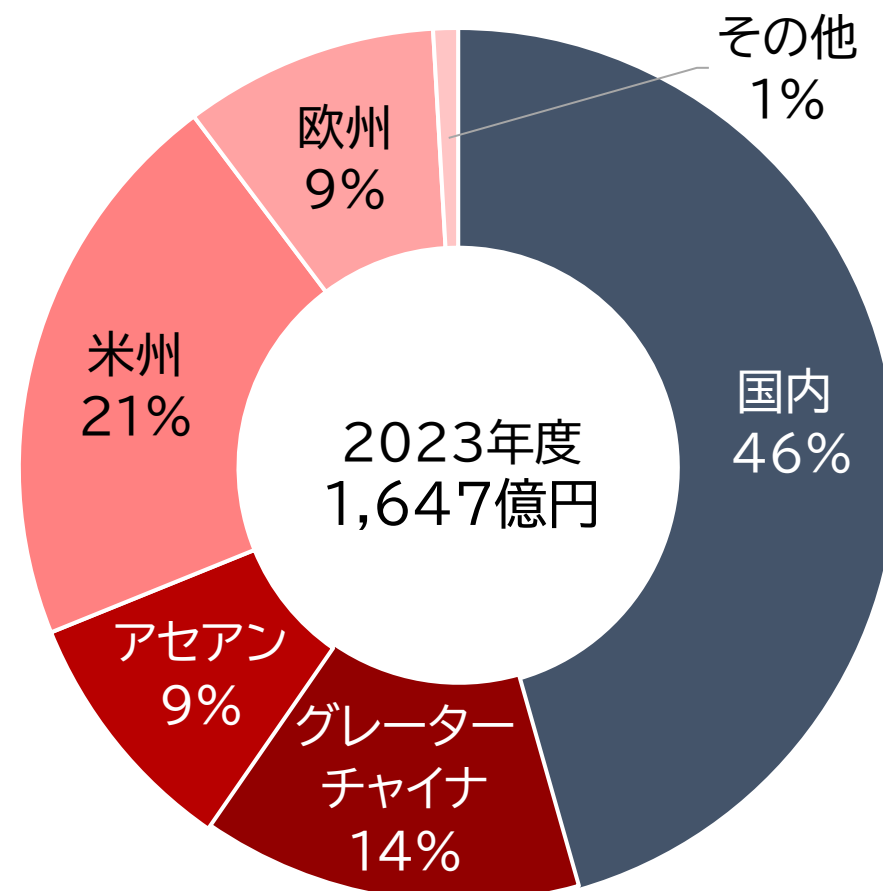
▶ 業態別・所在地別売上総利益

商社だけでなく、製造機能を活用し、世界でビジネスを行うのがNAGASEの特徴



商社業: 954億円

製造業: 692億円



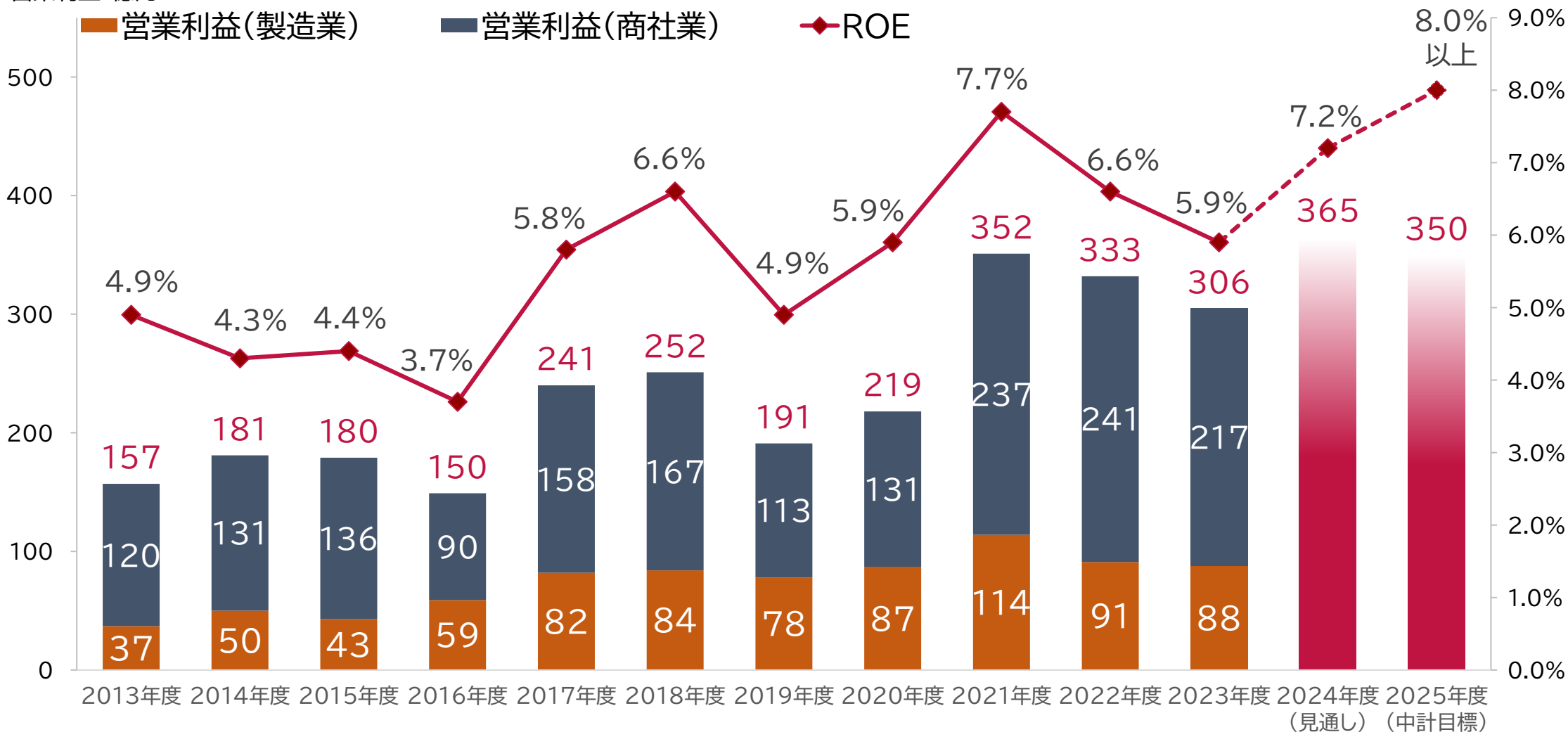
国内: 756億円

海外: 896億円

業績の推移と見通し

- 2024年度は過去最高益を更新する見通し
- 2025年度までに営業利益350億円の常態化、ROE8.0%以上を目指す

営業利益:億円

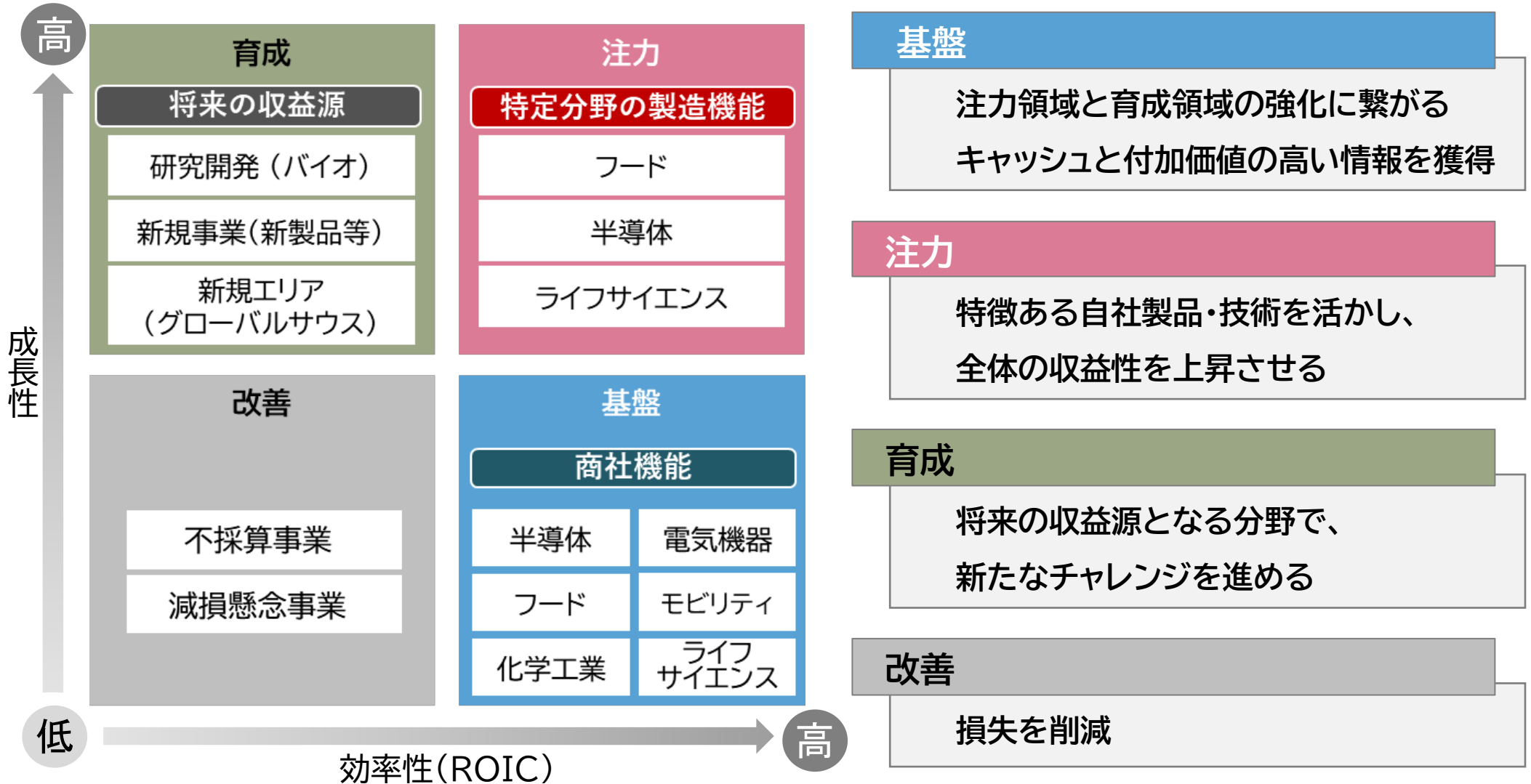


INDEX

1. 長瀬産業について
2. 成長戦略「中期経営計画 ACE 2.0」(2021-25年度)
3. 株主還元
4. まとめ

▶ 将来に向けた成長戦略

- 基盤事業である商社機能から生み出された経営資源や情報を注力・育成領域で活用する
- 注力・育成領域に対する2023年度以降の潜在的な投資額は約800億円
- 中長期的な利益規模・利益率の向上を狙う



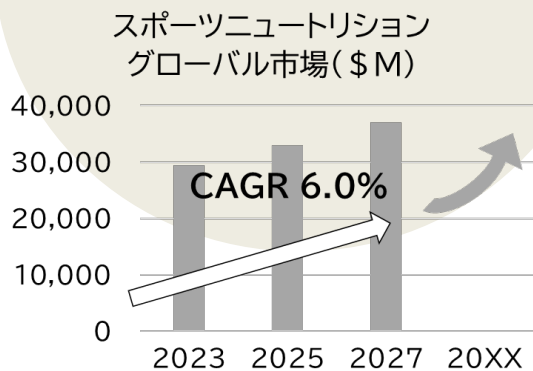
【社会課題】

- ・世界的な健康志向の高まり
- ・フードロスに対する課題意識

収益性の高い製造加工ビジネスを拡大する

- ・成長性の高いスポーツニュートリション市場との接点
- ・自社製造の機能性食品素材を含む多様な素材ラインナップ
(自社素材:トレハ[®]、ファイバリクサ[®]、ヘスペリジン等)
- ・グローバルをカバーする販売網
- ・M&Aの経験とノウハウ
- ・ワンストップで調達から製造まで提供できるビジネスモデル

健康寿命の延伸
フードロスの低減



引用元: © Statista 2023のデータをもとに当社作成

<具体的な取り組み>

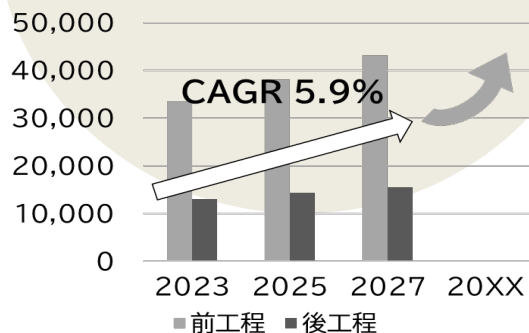
戦略	2021	2022	2023	2024
シェア/地域拡大		TIH社買収 (甘味料市場獲得)	アジア販売体制強化	
生産能力増強		ユタ工場新設 (受託製造拡大)		Flavor Tec社買収 (原料調達安定化)
用途拡大		カプセル化設備導入		スティック梱包設備増設
製造技術拡充			Lakeshore社買収 (粉末加工機能拡充)	

※TIH : The Ingredient House, LLC
 ※Lakeshore : Lakeshore Technologies, LLC
 ※Flavor Tec : Flavor Tec - Aromas De Frutas Ltda

【社会課題】

- ・最先端半導体の需要増加
- ・経済安全保障を背景とした生産拠点の多極化

半導体材料 全体市場 (\$M)



引用元: 富士経済のデータをもとに当社作成

生成AIサービスの普及で急成長している最先端半導体市場において高付加価値製品の販売をさらに拡大

- ・最先端半導体向けの液状封止材において圧倒的なシェアを獲得
- ・多様な要素技術による企画設計/製造力



液状封止材



シート状封止材

最先端半導体の製造に欠かせない高付加価値な素材を提供

<具体的な取り組み>

先端半導体パッケージングへの新コンセプト材料提案

- ・多様化・複雑化する先端半導体パッケージングに対し、新コンセプトのシート状封止材をラインナップ
- ・液状封止材から、次世代の半導体分野での業界標準の獲得も目指す

国内初 半導体製造に使用される現像液の回収・再生を事業化

- ・半導体製造における現像液・水の再利用と、産業廃棄物の処理費用の大幅削減を実現する
- ・Sachem社とNAGASEグループの合併会社SN Techが現像液の廃液を原料として回収するプラント“Green Mobius System”の製造・販売を実施する

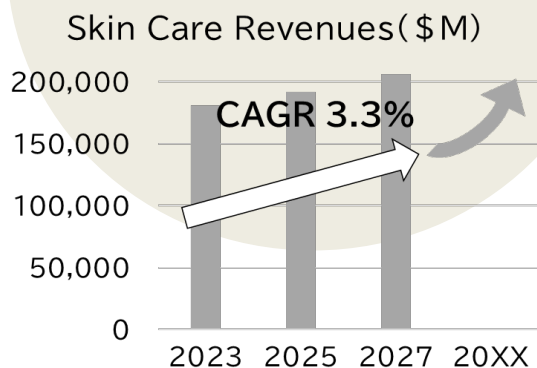
【社会課題】

- ・高齢化社会・健康志向の高まり
- ・サステナビリティへの意識の高まり

サステナビリティへの意識が加速するライフサイエンス市場において市場トレンド・顧客ニーズに合った自社素材を提供していく

- ・医薬品の安定性を支える糖の安定化技術
- ・処方提案と分析・評価機能
- ・各国レギュラトリーへの対応機能
- ・精密有機合成技術
- ・グローバルでのサステナビリティに関するプレゼンス

安心安全なバイオ由来素材の提供



引用元: © Statista 2023のデータをもとに当社作成



<具体的な取り組み>

医薬品素材

トレハロースSG : 医薬品添加剤用のトレハロース。需要が高まる抗体医薬品の品質安定性向上に貢献

プルラン : 微生物が作り出す多糖。フィルム形成性を有するため医薬品カプセル市場に展開

パーソナルケア素材

AA2G[®] : 安定型ビタミンC、自然由来の香粧品素材。美と健康意識の高まりにより海外への展開を加速

抗酸化効果を持つエルゴチオネインの発酵法を用いた量産化を目指す

エルゴチオネイン

- ✓アミノ酸の一種でキノコ等に含まれる天然成分
- ✓強い抗酸化作用を有し、高い安全性が担保されている

期待される効果は？

- ✓認知への効果
- ✓肌しわ・シミの改善
- ✓快適な睡眠



バイオ由来の高吸水性ポリマーの開発に成功、事業化を目指す

生分解性SAP

- ✓でん粉を主成分としながら、高い吸塩水性能を実現
- 石油由来品と同等レベル、他社の生分解性SAPの6倍超

- ✓土壌や海水での分解が可能

SAP(高吸水性ポリマー)とは？

高い吸水性能を有する高分子材料で、紙おむつや、農業、緑化分野や化粧品など幅広い分野で使用されている石油由来品が主流で、環境負荷が大きいことが課題

ナガセをサガセ。

おむつ問題は、
水に流そう。

年間の193億枚[※]。乳幼児用と大人用あわせて膨大な量が生産されている紙おむつは、使用後ほとんどが焼却処分されています。その際にCO₂を大量に排出することから、環境への影響が懸念されてきました。そこでNAGASEは、でんぷんを原料に使った「生分解性SAP(高吸水性ポリマー)」を開発。従来と同等以上の吸水性能を実現しながら、土壌や海水での分解を可能に[※]。実用化すれば焼却処理の量を大幅に減らせるため、環境負荷も削減できます。社会の課題をマテリアルで解決し、世界のパートナーと進めよう。未来を創造する。私たちはNAGASEです。

高吸収 バイオ由来 生分解性

NAGASE
Delivering next.

※2023年10月31日現在

※2023年10月31日「日本経済新聞」へ出稿

INDEX

1. 長瀬産業について
2. 成長戦略「中期経営計画 ACE 2.0」(2021-25年度)
3. 株主還元
4. まとめ

▶ 株主還元方針

- 資本の増加を抑制し、ROE8.0%以上の達成を確実なものとするため、2024年度、2025年度の限定措置として総還元性向100%とすることを決定

(ROE = 当期純利益 ÷ 自己資本 × 100)

従来方針

新方針(～2025年度)

総還元
性向

—

100%

配当

原則継続増配

原則継続増配

※変更なし

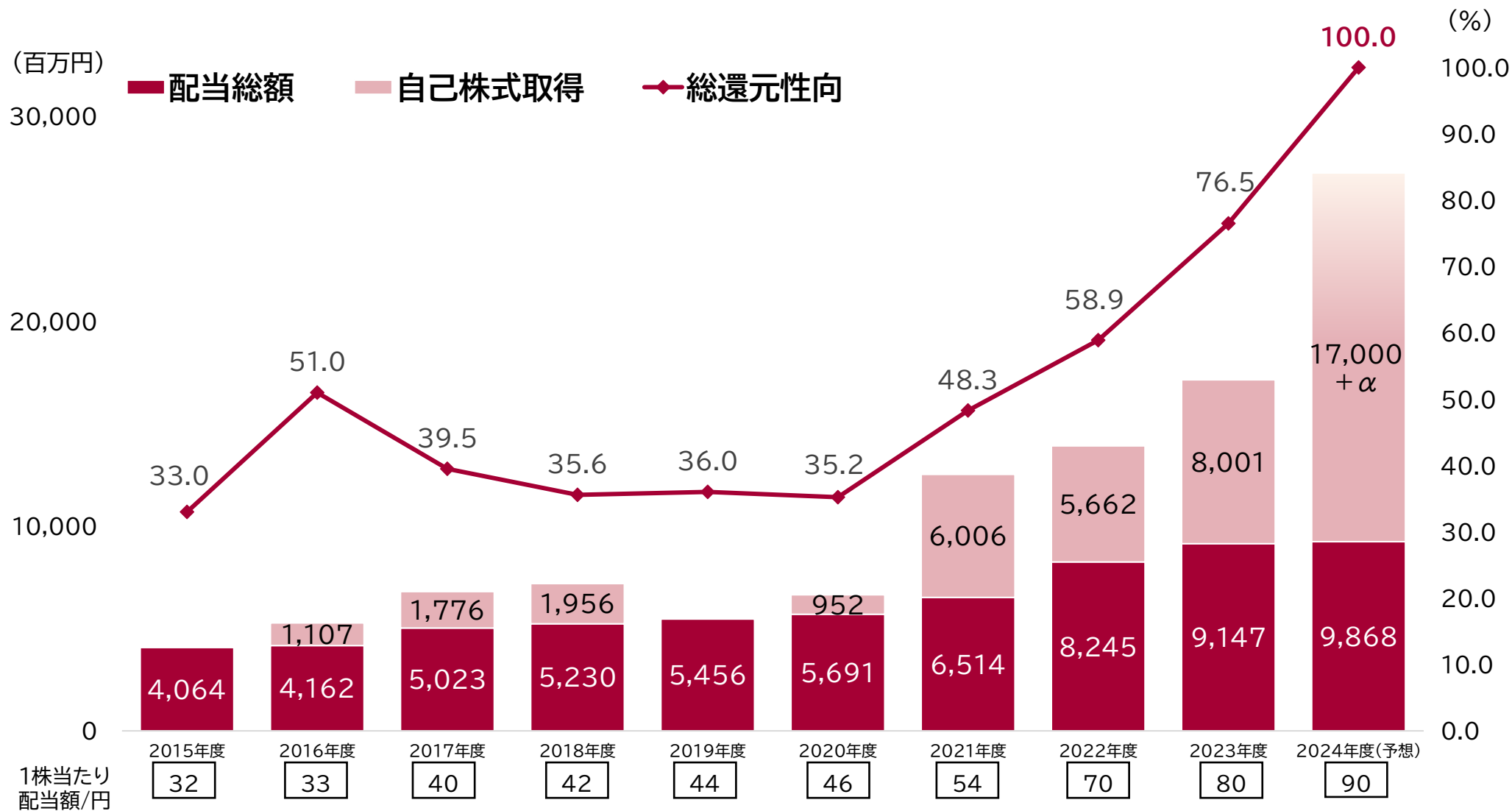
自己株式
取得

政策保有株式の売却額を
上限とし、機動的に実施

機動的に実施

株主還元方針

- 2024年度の中間配当は当初予定から5円増配し45円
- 2024年度の期末配当は45円、年間90円を予定(15期連続増配見通し)
- 2024年度の自己株式取得は現在までに170億円を実施



INDEX

1. 長瀬産業について
2. 成長戦略「中期経営計画 ACE 2.0」(2021-25年度)
3. 株主還元
4. まとめ

▶ まとめ

ものづくりの課題を素材(マテリアル)で解決する会社

事業内容

フード・半導体・ライフサイエンス・電子デバイス・モビリティ・化学工業市場におけるものづくりの課題を商社機能、製造機能、研究開発機能を活かして解決

成長性

フード・半導体・ライフサイエンス分野の製造機能、バイオ分野の研究開発機能にリソースを集中注力・育成領域に対する2023年度以降の潜在的な投資額は約800億円

安定性

自己資本比率50%(2024年3月末時点)
特定の市場・地域に依存せず、バランス良く収益を稼ぐ

株主還元

2024年度、2025年度の2年限定で総還元性向100%を掲げる
2024年度は中間配当は当初予定から5円増配し45円、
期末配当は45円、年間90円を予定(15期連続増配見通し)

これからも、
じぶんらしく。
じぶんらしくなく。



NAGASE | Delivering next.

■お問合せはこちらから

<https://www.nagase.co.jp/contact/>

■当社ウェブサイト 投資家情報ページ

<https://www.nagase.co.jp/ir/>

当プレゼンテーション資料には、2025年2月12日時点の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。世界経済・競合状況・為替変動等に関わるリスクや不確定要因により、実際の業績が記載の予測と異なる可能性があります。